

第十二回定時社員総会



社友

第 40 号

2016年6月24日 発行

(後列)

中原 監事
大谷 監事
荒木 理事
板村 理事
吉長 理事
白橋 理事

(前列)

原田 理事
永井 理事
今堀 代表理事(新)
石井 代表理事
赤堀 理事
須藤 理事

二〇一六年度
アステラス製薬
社友会
理事・監事

発行所
アステラス製薬社友会
編集者 須藤 友仁
 吉長 孝二
〒103-0012 東京都中央区
 日本橋堀留町1-2-16
TEL (03) 3664-4628
FAX (03) 3664-4621

二〇一六年六月九日(木)、伊場仙
ビルに於いて、アステラス製薬社友会
第十二回定時社員総会が開催され、総
会出席者及び委任状による議決を合わ
せ合計2,497個で、総議決権個数
の過半数に達しており、議案の審議に
必要な定足数を満たしていますので議
事に入りました。

議長に太田仁司理事長を選出し、先
ず平成二十七年の事業報告がありま
した。その中で、対処すべき課題とし
て、マスタープランの検討状況や、
引き続き検討を進めていく旨の報告が
ありました。

続いて決議事項の説明と審議が行わ
れ、第一号議案「第十一期計算書類」、
第二号議案「第十二期事業方針案」、
第三号議案「第十二期予算書案」、第
四号議案「理事三名の選任」について
審議されましたが、いずれも賛成多数
で承認可決されました。

閉会に際し新理事が紹介され、第十
二回定時社員総会は滞りなく終了しま
した。

総会終了後臨時理事会が開催され、
代表理事に左記の方々が選任され、続
いて理事の担当などが審議承認されま
した。

代表理事(理事長) 石井 康雄氏
代表理事(副理事長) 今堀 勝氏
本総会の議決権行使に際し、支部役
員はじめ会員の皆様方のご協力に対し
厚く御礼申し上げます。

理事長に就任して
石井康雄

アステラス社友会会員の皆様方に
は、ますますご健勝の事とお慶び申し
上げます。

また、日頃の社友会の諸活動にご協
力、ご支援を頂き誠に有難うございま
す。

この度、前太田理事長の後任として、
6月より理事長に就任させていただく
事になり、一言ご挨拶申し上げたいと
思います。

私は1970年に山之内製薬(株)に入
社し、営業各部門、経営企画部門等で
勤務した後、国際事業本部を経て、2
001年よりオランダにて山之内製薬
の欧州事業を担当して参りました。そ
の後、合併に際しては、両社の欧州事
業の統合を推進し、2005年の新会
社設立後は、アステラスヨーロッパの
CEOとして3年間、欧州ビジネスの
拡大を進めてまいりました。2008
年に帰国し副社長、副会長としてグ
ローバル営業を含め、会社経営の一端
に関わってまいりました。退職後の2
013年6月よりアステラス製薬社友
会に入会させて頂きました。2014
年6月からは、副理事長として前太田
理事長はじめ理事の皆様方と本会の運
営に携わって参りました。

社友会発足時より今日までの先輩皆
様方の大変なご尽力、ご貢献に対して
は、心より厚く感謝しております。お

蔭様で現在、全国の社友会活動も大変活発におこなわれております。

今日、日本では高齢化社会と介護、医療と健康など様々な問題に直面しておりますが、アステラス社友会では会員相互の交流と親睦を通して健康で明るい生活を実現させていくのが、その原点であります。私も今後理事の皆様方と力を合わせ、時代に即した社友会づくりを目ざしていきたいと思っております。

これからも引き続き、会員皆様方の深いご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

新理事紹介



理事
今堀 勝

この度、理事に選任いただきました今堀でございます。

1977年に藤沢薬品に入社し、MR活動の後、営業企画部、マーケティング部、営業本部の運営に携わりました。アステラス製薬では、営業本部で人と組織の融合、営業体制の構築、マーケティング戦略の立案・推進、2010年からは渉外部で業界活動、行政対応、政治案件に携わりました。最後の5年間の渉外活動の中で実感したのが業界における企業の位置づけの変化で

す。業界関係者、省庁幹部、政治家の製薬企業の見方はここ数年で大きく変化し、今では、信頼、信用、期待、どれをとつてもアステラスが一番です。

経営指標だけでなく、経営姿勢や総合的な企業活動が高く評価され、正に業界ナンバーワンの会社として認識されています。これからはOBとして社員の活躍と会社の発展を見守り、応援したいと思えます。

私が大切に行っている言葉が「誠実」です。「誠実」を判断、行動の拠り所として、諸先輩が築きあげられたアステラス製薬社友会の更なる発展に貢献したいと思えます。

何とぞよろしくご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



新支部役員紹介



仙台支部長
五十嵐 明

社友会仙台支部支部長に選任されました、五十嵐明でございます。

2006年3月アステラス製薬を退職し、埼玉県浦和から仙台へ居を移しました。同時に社友会仙台支部へ入会させていただき、ウォーキング、カメラ、麻雀の各同好会、全体行事を楽しんでいます。

2008年から支部幹事に選任され、今日に至っています。

仙台支部は会員67名と小さな支部ですが、同好会活動は活発で和気あいあいと楽しんでいます。

今後、更に参加者に喜んでいただけるよう、支部幹事の皆さん、各世話人の方々と協力し、楽しい支部活動のために「尽力していきたいと思えます。



仙台副支部長
矢崎 滋

1968年山之内製薬に入社、青森を振り出しに、広島、秋田、山形、千葉、山形、青森、でMRとして勤務し、2005年アステラス製薬を定年退職し、仙台市に永住、現在に至る。趣味

は写真、園芸、読書、旅行。

社友会活動は、支部設立以来、全ての同好会に参加しており、2007年に写真同好会設立時より麻雀同好会の世話人代表をし、今後も自分の間、世話人を兼任して、早い時期に後継者を育成していきたい。今後は出来るだけ多くの、会員が参加できるように、会員の意見を聞き、土日イベント開催も検討していきたい。



静岡支部長

上口 孝徳

私は静岡支部でゴルフ同好会と料理教室の代表世話役、昨年は副支部長を務めました。昨年度、補助金増額、支部総会の懇親会費が半減され、更に、未加入者のホームページへのアクセスや支部情報の反映が容易化されました。これらの追い風を活かし、会員の裾野を広げる、楽しめる企画を安全に実施するといった視点を基本として、会員の皆様の良識ある協力により世話人が気持ち良く準備／進行できる雰囲気維持に努めます。昨年はサミットより一足早く伊勢神宮に参拝しました。皆様と今年度も1つでも多くの良い思い出作りを！





静岡副支部長
小澤新太郎

このたびは上口支部長とともに副支部長として支部活動をお手伝いすることになりました。私は昭和四十五年山之内製薬焼津工場に入社、工務、製造管理、環境管理などの業務を担当し、平成二十一年七月にアステラス東海焼津工場総務部を定年退職しました。

社友会入会後しばらくして、職場の先輩から要請されて、ウォーキング同好会代表世話人を四年間担当させていただきました。



名古屋支部長
塚本裕治

静岡支部は会員三百五十名を超える大支部となり、八つの同好会・教室が活発に活動しています。支部三役、支部役員の皆様と一致協力して支部活動や同好会活動をさらに充実させ、会員の皆様が楽しめるよう努力します。よろしくお願いいたします。

2016年度より名古屋支部長をさせて頂くことになりました。社友会に入りすぐに「カルチャー」の世話人。実際には先輩が手はずをつけて頂きますので、お手伝い、という幹事でしたが、それが昨年から副支部長。町内自治会の役を一つづつこなすような感じ

です。

「支部長の役割は何か」ですが、抽象的には支部活動を「活発に」「楽しく」「二人でも多くの社友に」楽しんでもらうためのサポートですが、そのためには私自身が世話人総代として一番社友会活動を楽しませていただくことかなと考えています。それでも支部長としての挨拶など、緊張と重圧を感じますが。



名古屋副支部長
田島久義

昭和五十二年山之内製薬に入社。営業第一線として水戸・宇都宮・松本で勤務。その後、支店スタッフとして名古屋・高松・大阪・京都・名古屋で働き、平成二十五年に退職しました。退職後は月十日程仕事し、好きなサッカー観戦に明け暮れます。昨年は隣の神戸・大阪・静岡・横浜は勿論、観光を兼ねて山形・仙台・福岡に遠征しました。この度、社友会名古屋支部のお手伝いすることになりました。まだ右も左も分からない無知無知ですが、諸先輩のご指導のもと多くの人に参加していただける支部に出来ればと考えています。何卒宜しくお願いします。



支部総会
来賓ご挨拶(要旨)



野木森会長

本日は、アステラス製薬社友会支部総会にお招きいただき誠にありがとうございます。



畑中社長

アステラスは、発足から早くも11年が経過しました。社友会におかれましても同様に、発足から12年目を迎えるようとしており、今では8支部、約3,200名の会員の皆様が、66の同好会および教室を通じて、ますます活発な活動を展開されていると伺っています。11年間、アステラスは製薬業界のみならず、産業を牽引するリーディングカンパニーにまで成長しました。これもひとえに、諸先輩方のご尽力によって築き上げてこられた確固たる基盤のおかげです。この場を借りて、厚く御礼を申し上げます。

それでは、会社を代表いたしまして、アステラスの昨年度の状況をお話しさせていただきます。

アステラスの取り組みについては、おかげさまで、多くのステークホルダーから継続的に高い評価をいただいています。また、配当については、32円までの増配を行いました。

私たちはこれからも、諸先輩方の積

み重ねていただいた信頼をベースに、積極的にイノベーションに投資していくことにより、さらに高い評価をいただけるよう取り組んでまいります。

2015年度業績につきましては、現在集計中ではございますが、第3四半期公表ベースである、売上高1兆3,840億円、営業利益2,440億円を大きく上回る見込みです。

さて、15年度の大きなトピックとして、私たちは、これまでの成果を礎として、アステラスが長期にわたってさらなる成長を続けていくために、どこで価値を生み出し、どのように行動すべきかを示すべく、Vision2015に続く「Astellas Vision」を策定しました。

さらに、「製品価値の最大化」、「イノベーションの創出」、「Operational Excellenceの追求」の3つを軸とする「経営計画2015-2017」を策定しました。これらの3つの軸に沿って、私たちが行ってきた取り組みをご紹介させていただきます。

まず、「製品価値の最大化」に関しては、前立腺がん治療薬であるイクスタンジが日米欧で大きな成長を遂げました。イクスタンジについては、適応拡大のための転移性ホルモン感受性前立腺がん患者を対象とした臨床試験も開始しており、今後さらに多くの前立腺がん患者さんに貢献できるものと期待しております。その他、泌尿器や移植といった主要領域でも順調に売り上げを伸ばし、市況の厳しい国内市場におきましても、増収増益を見込んでお

ります。国内では今年度、アステラス・アマジェン・バイオファーマの第一号製品である、高コレステロール血症治療薬レバサの上市も予定しており、既存のスタチン製剤で十分にLDLコレステロール値が低下しなかった患者さんのアンメット・ニーズを満たせるものと期待しております。

また新薬パイプラインにおいても、急性骨髄性白血病の治療薬であるA2215が、国内において、初めての先駆け審査指定制度の対象品目6品目のひとつとして指定されました。開発の早期段階から薬事承認における相談や審査で優先的な取り扱いを受けることで、より早い上市が期待されています。

次に、「イノベーションの創出」に關しては、昨年度、眼科領域における細胞医療に強みを持つOcular社の買収や、Bellium社とのがんにおける細胞治療法に関する提携など、積極的に投資をしてまいりました。私たちは、成長の源泉であるイノベーション創出のために、今後も積極的な研究開発投資を継続してまいります。

最後に、「Operational Excellenceの追求」に關しては、グローバル皮膚科事業のLEO Pharma社への譲渡など経営資源の最適配分に取り組んでまいりましたし、国内ではMR体制を製品担当制からエリア担当制に変化するなど、環境変化にすばやくに対応するための取り組みを積極的に実施してまいりました。

本年度以降につきましても、私たち

の事業を取り巻く環境は益々早い速度で変化していくと思います。私たちは、新しいVisionのもと、経営計画の3つの軸をしっかりと取り組んでいくことで、変化する医療の最先端で、今後も付加価値の高い新薬やヘルスケアソリューションを患者さんに届けてまいります。どうぞ、引き続き、皆様の変わらぬご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりますが、今後も社友会との友好な関係維持、促進を図っていくとともに、このような機会を通じて皆様方との交流が図れればと考えております。

これからの社友会の益々のご発展を祈念いたしまして、甚だ簡単ではございますが、お祝いのご挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

支部総会報告

札幌支部

松井時夫

28年度支部総会は2年振りに30名の大台を超え、33名の支部会員出席のもと、4月18日(月)ホテルオークラ札幌に於いて開催しました。来賓にアステラス製薬から御代川副社長、社友会本部より板村理事、仲村事務局長をお迎えしました。

物故者黙祷、2名の新入会員紹介後、支部長挨拶でアステラス社よりのお祝い金、会員動向、活動報告、支部方針の紹介がありました。



板村理事から理事会、マスタープラン、今後の方針、課題等、詳しいお話がありました。

御代川副社長から熊本地震の被災状況があり、幸い社員、家族の方々が無事と分かりホッとしました。会社は好調な決算が見込まれ、更には3つの重点戦略展開により、今後も順調に発展を続けて行くとのこと、力強く感じました。

支部同好会活動は各代表世話人から報告があり、参加呼びかけと補助金増額効果で参加人数が増えたのは嬉しい限りです。

慶祝者は9名(喜寿4名、古希5名)を数え、板村理事から各人にお祝い金が贈呈されました。

懇親会は仲村事務局長の乾杯ご発声で始まり、慶祝者を代表して中西勝利

さんの挨拶がありました。楽しく懇親を続けるなか、中締め時間になり閉会しました。



仙台支部

亀岡一之

4月20日(水)江陽グランドホテルにて、平成27年度支部総会が会員38名(昨年比2名増、出席率56・7%)で荒木理事、仲村事務局長出席のもと野木森代表取締役会長をお迎えし開催されました。

仙台支部は小さな支部(4同好会)ですが、支部活動は全支部の中でも積極的に活動している支部だと思っております。このことは支部役員、特に同好会世話人の努力の賜だと思っております。今年度より黒河内支部長、五十嵐副支部長が代わり、五十嵐支部長、矢崎副支部長の新体制になりました。規



定の改定により補助金が増額に成りましたので、より支部が活発に成ると思います。問題は他の支部同様に会員が増加（3名亡くなり新入会員1名）と



平均年齢が上がることです。社友会が発足した時代と今では世の中も変わり、若い年代の価値判断と我々の価値判断のギャップに我々が気付かないのかもしれない。この解決を見つける事は非常に難しいと思います。

東京支部 松尾 宏

今年の東京支部総会は、4月25日、昨年に引き続き、池袋のホテルメトロポリタンで開催され、アステラス製薬から、野木森会長、畑中社長、御代川副社長他、社友会本部から太田代表、在京理事に参加していただき、昨年よりやや多い支部社員334名が参加し開催されました。

総会は木村幹事の司会で、冒頭、物故者に黙祷を捧げた後、桜井支部長より支部運営の現況について、各同好会は盛会に開催され、高齢化社会を楽しく生き抜く免疫力向上に寄与しているが、会員動向では高齢化の進展と若手の参加不足、バス運賃の高騰等に苦慮している旨報告があった。社友会の太田代表理事より、全国の同好会、教室活動が活発に実施されており、収支構造改善から援助費を増額したり、ホームページ改訂を行い社友会活動をより充実していく旨説明があった。アステラス製薬野木森会長から15年度業績は世界的な医療費抑制が強まる中、主に欧米でのXATANDI等新製品の進展で増益増収が見込まれ、今年度以降は薬価引き下げの影響はあるが、レパサの新発売、眼科領域等の新薬開発促

進、新ビジョン及び経営計画の展開で着実に成長を続ける旨説明があった。続いて桜井支部長より1名の新任幹事を含め14名の支部幹事の紹介があ



り、今年も魅力ある同好会を提供すべく精一杯頑張るとの表明があった。今年の慶祝者は、白寿1名、米寿18





アステラス製薬社友会
2016年度静岡支部総会

今年の静岡支部総会は会場をホテル

静岡支部 小澤 新太郎

名、喜寿73名、古希79名、合計171名と多く、出席者は米寿9、喜寿30、古希33名で太田代表理事からお祝い金が贈呈され、3組に分かれて記念撮影を行った。なお会場に、写真、俳句、絵画同好会の力作と、各同好会の活動パネルが展示され、熊本地震災援金箱が設けられ。

支部長の乾杯で懇親会に移り、充実した食事と美酒を楽しみながら、米寿を含め長老の方々の出席も多く久しぶりの再会や懇談で例年よりも元気で活気に満ち盛会の内に中締めとなり、副支部長の一本締めでお開きとなった。さらにアステラス製薬からのお祝い金で、バームブッセをお土産に帰路についた。



センチュリー静岡に変更し、アステラス製薬から上席執行役員榊田様、社友会本部理事白橋様、社友会事務局長仲村様のお三方をお迎えして4月21日(木)に開催いたしました。

支部総会出席会員数は、103名と例年を大幅に上回る人数でした。特に富士地区から18名と大勢の方々に参加いただきました。今年度の会場変更を決断して準備を進めた旧支部役員の方々の努力が実を結びました。

総会は予定通り、16時に赤堀支部幹事の司会、小生の開会宣言でスタートしました。議事に先立ち昨年度にご逝去された方々のご冥福を祈り黙祷を捧げました。

最初に上口支部長から今年も昨年と同様に、アステラス製薬から「お祝い金」を頂戴した報告をし、拍手で御礼



をしました。又、社友会本部の昨年度の施策改訂による追い風を活かして、本年度の支部活動を推進し会員のすそ野を広げていきたいとの抱負が話されました。

来賓としてご出席を頂きました社友会本部・白橋理事からは、今年度退職予定者の総会招待、マスタープラン、予算、収支、定時社員総会の参加・委任状提出等についての説明、報告、お願いがありました。次にアステラス製薬 榊田上席執行役員からは、会社の現況、会社の将来展望、新製品等についてのお話を頂きました。社友会・仲村事務局長からは、最近は入会者が減少しているの、入会勧誘の御願いが有りました。また、会員の年齢構成、女性比率、高齢化等について報告、説明がありました。続いて、小生から新

旧役員、新入会員の紹介をしました。その後、上口支部長が支部活動報告として昨年度の活動実績と本年度の取り組み方針を説明しました。

最後に、白橋理事から出席慶祝者全員に記念品が贈呈され、ご来賓を交えて記念撮影を行いました。今年の対象者は喜寿7名、古希21名(総会出席者喜寿1名、古希14名)でした。

総会終了後の懇親会は亀山幹事が司会担当で開宴し、最初に仲村事務局長と榊田上席執行役員より、熊本地震に関する福岡支部会員の安否情報やアステラス製薬の現状の対応状況に関する報告がありました。昨年の静岡支部長池谷さんの乾杯の音頭で懇親会がスタートしました。

名古屋支部 塚本 裕治

静岡以内の一流ホテル料理で会場は盛り上がりました。テーブルのあちらこちらで久しぶりの再会、旧交を温める和やかな雰囲気とカラオケで大いに盛り上がりました。

支部幹事長の上野さんから中締めの挨拶の後に榊田様をお送りし、ほどなく懇親会は無事終了しました。

アステラス製薬からいただいたお祝い金で準備したお菓子の詰め合わせをお土産に帰路につきました。

張の地、ということ、あの「みゃくみゃく」言葉でご挨拶頂きました。次に「アステラスの今」「これからの展開」少し「株価」などのお話を頂きました。まさにアステラスの生の音を聞かせて頂き、社友の皆様には一層の理解を深められた事と存じます。

次第の最後に慶祝者記念品贈呈。対象の皆様のご出席は喜寿4人、古希9人、計13人の方々でした。赤堀本部長事から記念品贈呈の後、記念撮影をして総会を終えました。

懇親会場にはアステラス製薬から頂いたお祝い金を使わせて頂き、各同好会の力作を飾らせて頂きました。またテーブルは、地縁をベースにしましたが、うまくいったでしょうか。

楽しい時間もあったという間に過ぎ、渡辺恒生さんの中締めで、お開きといえました。



冒頭、熊本地震に被災された方に対するお見舞いの言葉を持って総会を始めました。物故会員に対する黙禱に続

大阪支部

友井 正明



き、太田代表理事から社友会活動に関するご挨拶がありました。アステラス製薬の野木森会長からは、アステラス製薬の目指す3つの柱について丁寧なご説明がありました。

支部の活動状況については、会員数の変化、北陸地区での活動状況、歴史の探訪、カルチャー同好会への多数の会員の参加、山歩き同好会の特別企画の話題、麻雀同好会の開催回数の増加を話しました。俳句、写真、絵画同好会の展示作品に対する感嘆の声が上がっていました。退任幹事のねぎらいと、新任幹事として二人の女性幹事が誕生した事、社友会の事務所が移転して会員間の交流の場として積極的に利用することを呼びかけました。長寿慶祝者が増加したため2回に分けて記念撮影をしました。続いての懇親会では、会長、社長に会場をくまなく廻って頂き、



中條支部長の広島支部の現況報告と今後の活動への抱負発表のちに、野木森会長から製薬業界の現状と将来の課題で、アステラス製薬の目指す方向性についてのお話を伺うことができました。いくつかのテーマの中で製品価値の最大化のために、海外メーカーとのジョイントベンチャーの構築、イノベーションの促進、MRの地域制の導

広島支部

川地 勇



和やかな雰囲気のが進行し、無事終了しました。



入等のお話にて会員一同大いにアステラス製薬の将来像への期待を強く感じました。続いて、ご多忙の折に係わらず総会にご出席くださいました林田中国支店長より、中国支店の状況の報告を頂きました。



総会後の懇親会では、鎌田事務局長の乾杯のご発声の後、慶祝者、新入会員の挨拶と、アトラクションとして広島出身の中路さんによるマジックショーや、各同好会世話人からの活動報告などと、楽しいひと時を過ごして散会となりました。

福岡支部 竹下重昭

福岡支部総会は4月22日(金)ホテルセントラーザ博多にて開催し、支部会員174名中、81名の出席者で滞りなく終了することが出来ました。

今回は熊本地震の影響で、特に断続的で強度の震度が続いたことにより被害も大きく、熊本県内在住者や身内が熊本在住の方とか、また、宮崎・大分方面からの交通機関の寸断等により、急遽、10名の欠席者が出て、結果的には昨年の出席者数を3名下回りました。熊本在住の会員の方は7名で総会当日までに5名の方と電話で連絡がとれました。いずれも家屋損害はあるものの、無事であることが確認できました。しかし、残念ながら2名の方とは連絡がとれませんでした。4月28日にやっと連絡がとれ無事であることが確認できました。なお、お二人とも家屋の損害が酷く、日中、家の片づけ後は、まだ、避難所での生活が続いているとの事でした。

総会当日、熊本地震による社友会会員7名に対する義援金を募りまして、集まった7万1千円は、後日、それぞれの方にお送りするようにしております。



す。一日も早い復興と立ち直って元気を回復されることをお祈りする次第です。

会の進行は高口副支部長の司会で行われ、本年度は物故者黙祷を最初に行い、次に支部長挨拶では、出席者への御礼と野木森会長に来賓御礼ならびにお祝い金の御礼を申し上げ、出席者には、そのお祝いとしての記念品(エコバック)であることを申し上げます。

次に2015年度支部活動報告と共に2016年度支部活動方針についての説明を行い、特に2016年度は支部として初めての女性幹事(松田さん・料理)と世話役(濱田さん)の誕生で女性の方の積極的な行事参加の期待をお願いをしました。

続いて吉長理事からご挨拶を戴き、来賓の野木森会長からは業界環境、国の製薬産業への取組みや考え方やアス



テラス製薬の経営状態及び研究・開発ビジョン等のお話を賜り、皆さんは興味津々で、益々の発展に期待を膨らませ、また、会社との強い絆を感じられたことと思っております。

引き続き吉長理事から、慶祝者15名へ出席者一人ひとりにお祝い金の贈呈を行って戴いた後、2016年度の各同好会代表世話人10名から、新年度の行事企画とPRがあり、会場内は厳粛な雰囲気から一転して和やかな雰囲気になりました。

慶祝者記念撮影後、直ぐに懇親会が始まり、会場は昨年同様、陶芸同好会の力作、写真同好会から写真が展示され会場に彩りを添えていました。

お互いに久し振りの出合いに話が弾み、あっという間に予定の時間となり、お開きとなりました。

退任のご挨拶 太田仁司

今回の第12回定時社員総会をもって、4年間の任期が終わり退任することになりました。

この間、会員皆様方の社友会運営に對するご理解とご協力に對し、心より御礼申し上げます。また、会の運営に積極的にご参加頂きました理事の皆様方及び各支部役員の皆様方に加えて円滑な運営準備にご尽力を頂きました東京事務局、大阪事務局の皆様にはこの場を借りて厚く御礼申し上げます。

私が担当してまいりましたこの4年間は、それまでの先輩理事の皆様方が築かれたしっかりとした土台がありました事に加え、アステラス製薬(株)が毎年増収、増益を達成し、株式の安定と共に、株式配当増という社友会の財政面で好環境に恵まれた4年間であったと思います。会運営に当たっては、マスタープラン検討委員会から提案のありました将来の財政面への影響を意識しつつ、一方で、会員確保及び魅力ある社友会作りを目指して尽力して参りました。

新しい体制になりましたも、会員の皆様方の交流と親睦を通じて会員の健康やかで明るい生活の実現を目指すという社友会ビジョンの実現に期待したいと思います。

今後は大阪支部の同好会活動を楽しみながら、微力ながらも社友会を盛り上げていきたいと考えております。最後になりますが、会員皆様方のま

すますのご活躍、ご健康を祈念いたしまして、退任のご挨拶とさせて頂きま

創業者胸像の移設

アステラス製薬は、新薬創出力の強化に向けた研究体制の改革の一環として、2015年度末に加島事業所を閉鎖し、そこにあつた複数の機能を、つくば研究センターを含む複数の場所に統合・移転しました。拠点再編の取り組みにおきまして、アステラス製薬の前身である山之内製薬、藤沢薬品工業の創業者を顕彰している像につきましても、山内健二氏の像を焼津事業所から、初代藤澤友吉氏の像を加島事業所から、つくば研究センターに移設しました。

移設後、元山之内製薬会長森岡茂夫



氏、元藤沢薬品工業会長藤澤友吉郎氏よりご視察を希望され、2016年4月21日に見学会を実施しました。両氏はつくば研究センターにアステラス製薬研究機能の概要説明を受けた後、創業者の胸像を見学され、アステラスの発展と先人に対する姿勢に大いに喜ばれました。



熊本地震で被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます

2016年4月14日に熊本県において発生した地震により甚大な被害が生じています。会員の皆様の安否が大変心配されたところですが、家屋・家財の被害を受けられた方はいらっしゃいませんが、幸いご本人及びご家族は全員無事が確認されました。被災者の方々に對しまして、謹んでお見舞いを申し上げます。

アステラス製薬社友会は、同地震による被災者救済に役立てていただくため、以下の通りに義援金を寄付いたしました。

拠出者…アステラス製薬社友会
寄付先…日本赤十字社
金額…30万円

被災地の一日も早い復旧を心より祈念申し上げます。

ホームページ 更新しました

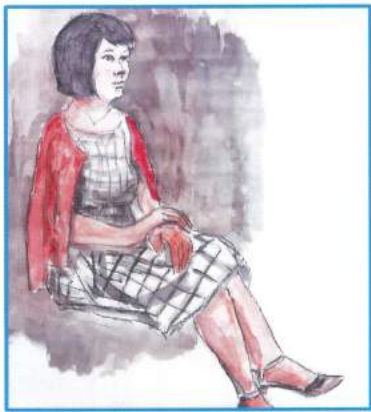
- 【4月更新】
「事務局からのお知らせ」
「2016年度行事予定」
 - 【5月更新】
「作品展示コーナー」 写真・絵画・俳句
 - 【7月更新予定】
「事務局からのお知らせ」「行事予定(変更)」
「役員人事」「第12回定時社員総会議事録」
 - 【8月更新予定…支部により都度更新】
「同好会記事・写真」
- *「物故者」は計報連絡受領次第、「会員動向」は毎月更新しています。
- ～ぜひご覧になって下さい!～



紀州御殿跡庭から 花田貴宣 (東京)



佐賀県・呼子漁港風景 森井教宣 (大阪)



人物 高塩芳男 (東京)



太姑娘山の青いケシ 伊藤理恵 (大阪)



静物 永島智昭 (東京)



近江八幡堀 伊藤信雄 (大阪)



冬日昭和記念公園 松尾 宏 (東京)



神戸ハーバーランド 坂東靖介 (大阪)



彩雲 佐分昭夫 (名古屋)



神々の花園 アリ塚とナマクワランドディジー 富岡健一 (東京)



高千穂峽 副島敏明 (福岡)



清流の階段 佐藤敬文 (東京)



雪中ばたん 原田 純 (仙台)



ハナネコノメ 三木寿雄 (東京)



帰巢 岡田 亘 (大阪)



天空に架ける 前羽民人 (大阪)

東京支部 俳句同好会

平成二十八年四月八日

陽炎や解く帯締め桃のいろ

秋田美智

金髪も茶髪黒毛も花見酒

天瀬光雄

満天星の垣根を刈つて花少し

大場ひさし

陽炎の中へ溶け込む路線バス

小谷吉春

花吹雪散り敷く彩をそのままに

川脇久徳

しやばん玉風に七色貰ひけり

小池清司

春祭地図を片手に蔵の街

齊藤ひろみ

落椿無機なる街路色づけり

島村能看

春雷の風ともなひて闇照らす

田中保代

佐保姫を待ちわびている佐久の山

花里 花

お花見や外人グループ賑やかに

藤原少砂

江の電のたつた二両や陽炎へる

古川龍郎

陽炎や自転車競ふ双子たち

本郷宗祥

陽炎の消えて又立つ石畳

森田一宗

小流れの水分子や幣辛夷

森田 武

大阪支部 俳句同好会

平成二十八年四月十二日

街路樹の辛夷吹き散り道白し

一橋忠行

病癒ゆ人と堤へ初ざくら

片岡幸八

車椅子とどめ万葉の花吹雪

河村信弘

春シヨール児に蝶結び教へをり

除門一喜

花と歩す背割堤の長からぬ

友井正明

芋の芽の明日出るらし土動く

西田 弘

蝶蝶の群れ飛ぶ畦や万歩計

橋本喜代美

同窓会花見電車をのりつぎて

東出恭子

哲学の道に花見の客あふる

平子敏雄

遺されし高き煙突夕桜

堀田建夫

しづやしづ静の舞に散るさくら

桃井克夫

事務局だより

仲村 信夫

【第11回決算理事会】 16年5月6日

- 一. 15年度決算報告の件
- 二. 16年度理事候補者の件
- 三. 第12回定時社員総会に関する件
(招集通知・委任状他)
- 四. 推薦入会会員承認の件
- 五. 新入会員承認&会員動態報告の件
- 六. 15年度会費未納入者退会処理報告
- 七. 理事の登記に関する件
- 八. その他

【第46回理事会】 16年6月8日

- 一. 第12回定時社員総会に関する件
- 二. 16年度支部総会総括の件
- 三. 会員動態報告の件
- 四. その他

【臨時理事会】 16年6月9日

- 一. 代表理事(理事長・副理事長)選任の件
- 二. 理事の担当に関する件
- 三. 第13回定時社員総会日程の件
◇17年6月8日
- 四. 推薦入会会員承認の件
- 五. 6〜9月主要日程に関する件
- 六. その他

【夏季休暇のお知らせ】

社友会事務局は左記期間夏季休暇となります。
16年8月11日〜17日

【年末年始休暇のお知らせ】

左記期間年末年始休暇となります。
16年12月29日〜17年1月4日

物故社員報告 (敬称略)

ご逝去日	氏名	享年	支部	ご逝去日	氏名	享年	支部
9 16.03.11	戸室光司	73	静岡	1 15.08.14	石川 毅	64	東京
10 16.03.12	牧野賢雄	81	名古屋	2 15.10.28	大浜 晋	72	東京
11 16.03.17	山内一樹	57	福岡	3 15.11.03	山元正一	91	東京
12 16.03.18	伊藤立信	59	東京	4 15.12.23	山田信次	90	東京
13 16.04.01	佐野昭五	86	東京	5 16.02.15	楠堂史昌	75	大阪
14 16.04.09	内田勝彦	78	大阪	6 16.02.18	小野沢銀造	92	東京
15 16.04.09	堀口眞男	84	東京	7 16.02.18	高田 満	70	大阪
				8 16.03.06	山賀政孝	76	東京

●お悔み申し上げます●

編集後記

▼先日、友人が幹事のゴルフコンペに参加しましたが年齢層は55才〜75才で平均は66才でした。
優勝は71才の大先輩でしたが、スコアは81で、しかもベスグロ優勝です。
私は田舎の農家育ちですが子供の頃、隣のおじさんは60才くらいでしたが、腰は曲がり頭髮も真っ白で、相当なお年寄りに見えました。
現在、自分がその年齢になってみると、一昔前の老人とは大分違うと思えます。まだまだ若々しくこれから社友会の皆さんと一緒に、ますます元気に活動したいものです。